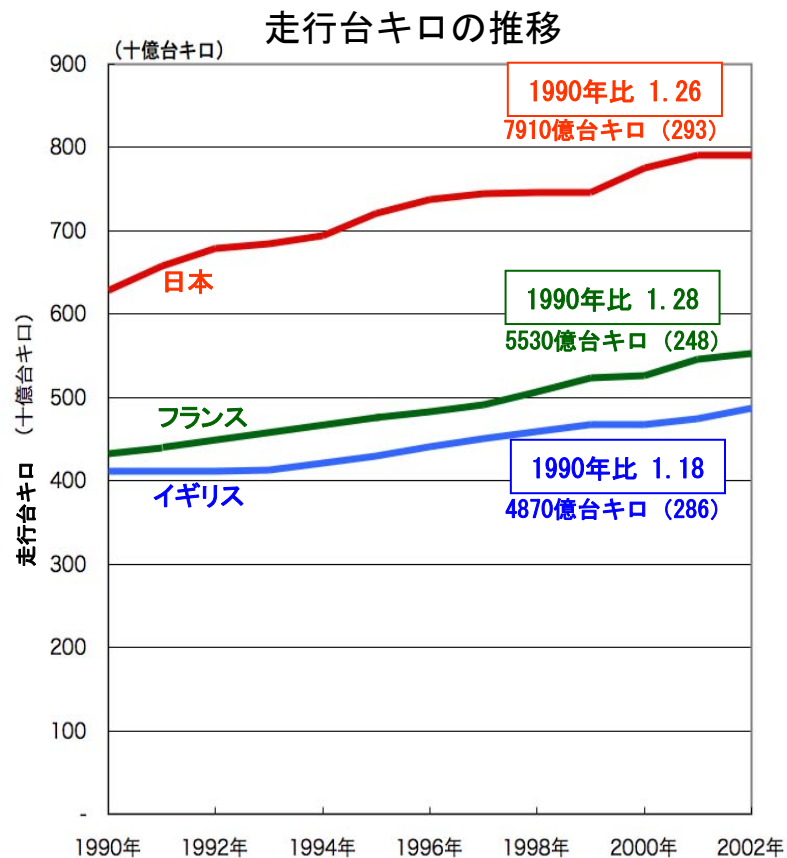


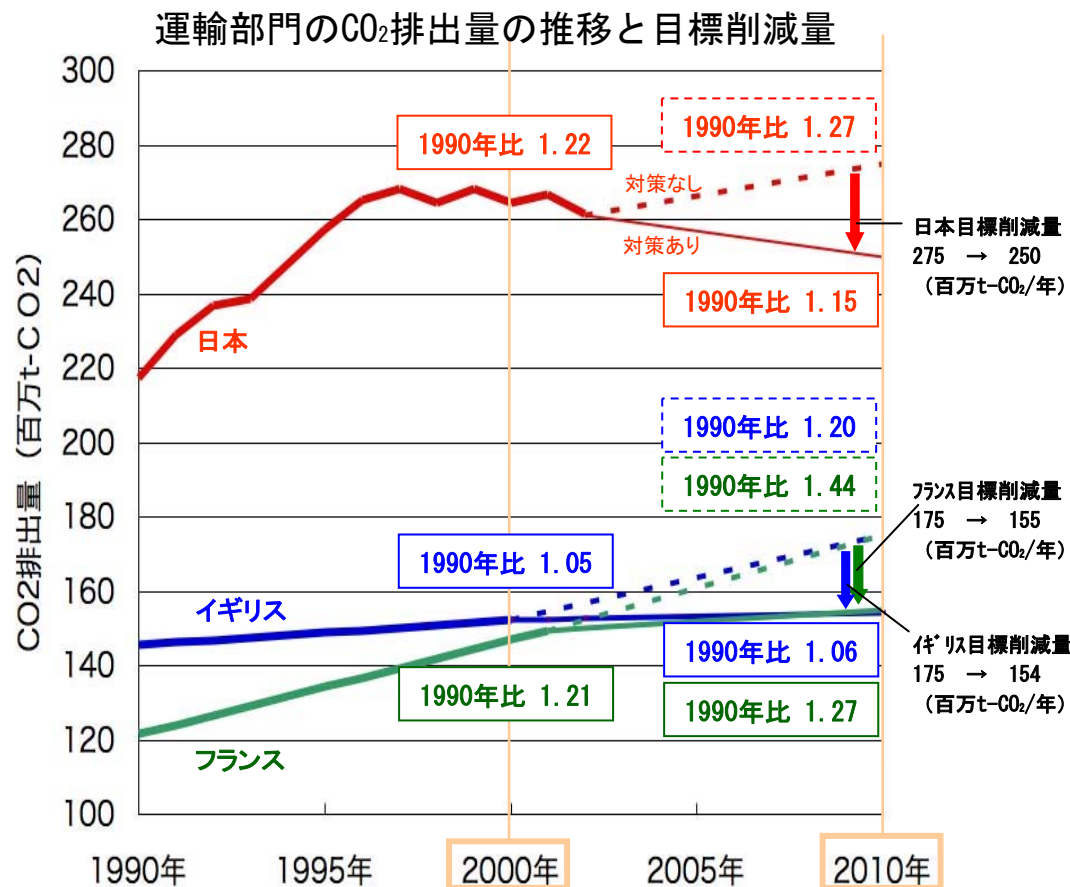
海外のCO₂排出量の推移と目標削減量

- ・ イギリス、フランス、日本ともに運輸部門のCO₂排出量は上昇傾向にあり、各国はその削減を計画している。

(1) 各国の走行台キロの推進と削減目標



注) 各国の () 内の値は、台キロあたりCO₂排出量 (g-CO₂/km: 2002年)



海外のCO₂排出量の推移と目標削減量

(2) 各国の削減目標達成に係る施策

<p>日本 (京都議定書目標達成計画における 施策の概要 (運輸部門))</p>	<p>イギリス (気候変動プログラム2000年)</p>	<p>フランス (気候プラン2004)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・自動車単体対策及び走行形態の環境配慮化 ・交通流対策 (社会資本整備分野、交通規制分野等を含む) ・物流の効率化 ・公共交通機関の利用促進 ・鉄道・航空のエネルギー消費効率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・1999年までの段階的な燃料税引き上げ ・自動車からの排出に関するEUレベルの自主的合意 (社用車税・車両税による削減) ・“Transport 2010” 実施による削減効果 ・スコットランド・ウェールズにおける持続的物流 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジン駆動に関わる排出量削減 ・バイオガソリンに関する指導要項作成 ・消費に関する明確な情報 (エネルギーの明示) ・自動車購入の割引・割増制度 ・許可速度を守らせること ・自動車試験の際、落ち着いた運転への注意喚起 ・都市公共交通の発展 ・企業の物流改善 ・鉄道輸送 ・TGV網 ・海の高速度道路 ・航空交通